

## 中国古代の&lt;無文字文化&gt;メモ

前口上に掲げた勉強の一環として、5月15日(土)のABCは、まず、中国の<無文字文化>時代とはどのようなものか、考えておきたいと思います。

『老子』が言う「無」は、この中国大陸の<無文字文化>を暗に指しているように思われる。

そこで、まず、中国大陸の<無文字文化>とは—

新石器時代は紀元前12,000年前くらいから始まる。

そのあと、

黄河文明 仰韶文化 半坡期 5000~4200B.C. 中原に展開

廟底溝期 4000~3000B.C. 半坡の継承

馬家窯期 3300~2000B.C. 甘肅省青海省

半山期 2700~2300B.C. 馬家窯の後継

馬廠期 2400~2000B.C.



半坡期陶器（人面魚？）



廟底溝期陶器（梟面？）

## 仰韶文化の特質

自給自足生活 狩猟、養蚕

粟から麦、米へ。焼畑か集約農業

高床式建物に穀物を貯蔵

犬を飼育。豚、羊、山羊、牛など家畜

彩陶：白・赤・黒／人面、動物、幾何学模様。手捻り。子供が甕に埋葬

環壕。半坡文字？（半坡陶片）

続いて龍山文化（2500B.C.~）、殷（1600B.C.~1100B.C.）、周（1100B.C.~770B.C.）

ところで、この時代区分は、20世紀後半に、考古学の成果を得て、現在定着しているが、それ以前は、『史記』やその他の史書が伝える「古代」像が、長い間信じられていた。それは、「三皇五帝」と「夏王朝」に代表される。

「三皇五帝」は、「中国古代の伝説上の聖天子八人」などと、いまでは言われる。

三皇五帝のうち、三皇は、

燧人（すいじん）、

伏羲（ふくぎ、ふっき）、

神農（しんのう）あるいは女媧（じょか）。

五帝とは、

黄帝（こうてい）、

顓頊（せんぎょく）、

帝嚳（ていこく）、

帝堯（ていぎょう）、

帝舜（ていしゅん）。

夏（か）王朝は、五帝の最後の帝である舜に仕えていた禹（う）から17代、約500年ほど続き、17代目の桀（けつ）が、商の14代湯（とう）に滅ぼされた、という。湯王はそこで殷王朝を建てた。殷代は甲骨文字の時代である。

殷が周の武王に滅ぼされるのは、

紀元前1050頃。周王朝は紀元後256年まで続いた。

この三皇五帝は、比べようのない名君であり、かつて中国の人が「聖人」という言葉を耳にすれば、それは、この三皇五帝、なかでも「夏王朝」を準備する「堯」「舜」をすぐに脳裏に浮かべるのだった。

2500年にわたって、この歴史観が中国大陸にすむ人びとの思考動脈に流れていた。

もちろん、老子は、仰韶文化のことなどまったく知らない。